



東証スタンダード市場
証券コード:9233



2024年9月期(第77期)

第2四半期 決算補足説明資料

アジア航測株式会社



1. 連結決算の概要と業績予想	3
• 業績サマリ・ハイライト	
• 事業区分別概要と決算の状況	
• 2024年9月期連結業績予想	
2. 中期経営計画の概要	11
• 「長期ビジョン2033」と「中期経営計画2026」の位置づけ	
• 中期経営計画2026の概要	
• 配当方針	
Appendix	24

1. 連結決算の概要と業績予想

第77期 2024年9月期第2四半期 業績サマリ(連結)



連結業績

- 長期ビジョン2033の第1フェーズとして、中期経営計画2026を策定し主要分野事業を柱としながら事業領域の拡大に取り組む等、様々な事業を推進し、受注高、売上高ともに前年比増となりました。
- 一方でIT・DX投資、人件費増等の投資を背景に販管費の増加を行い、全体として営業利益・経常利益については若干の減少となりました。

■ 業績サマリ・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

項目	第76期 2023年9月期 第2四半期	第77期 2024年9月期 第2四半期	増減	増減率
受注高	15,191	17,147	1,956	12.9%
売上高	24,119	24,612	493	2.0%
売上原価	16,028	16,320	291	1.8%
売上総利益	8,090	8,292	202	2.5%
販管費	3,362	3,634	272	8.1%
営業利益	4,727	4,657	△70	△1.5%
経常利益	4,616	4,469	△147	△3.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,000	2,976	△23	△0.8%



概況

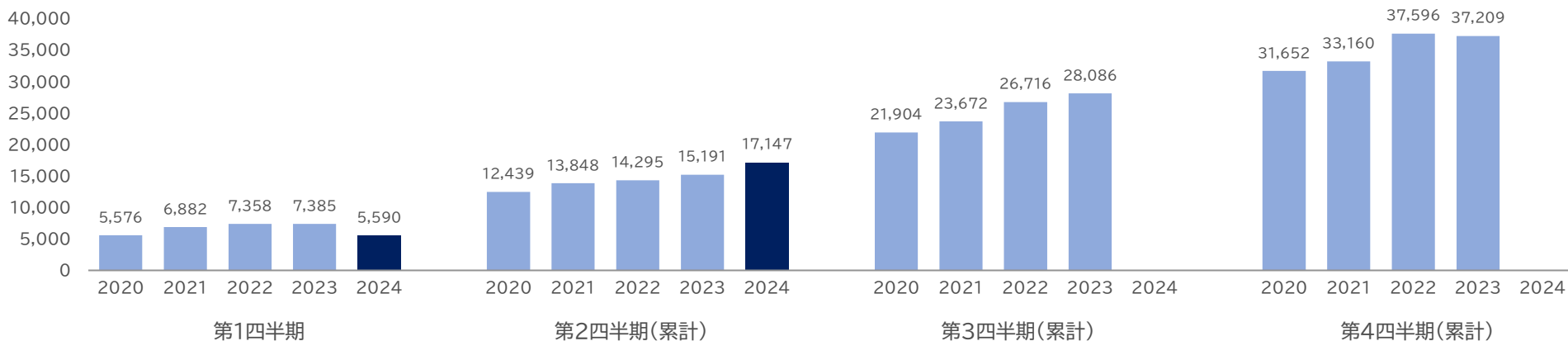
- 社会インフラ施設の維持管理や超スマート社会の構築を背景とした「Project PLATEAU(プロジェクトプラトー)」による3D都市モデルの整備、防災・減災対策の推進等、国土強靱化やデジタル改革の加速化、脱炭素社会の実現に向けた公共投資や、エネルギー関連等の民間投資をうけ、引き続き市場が順調に推移した結果、前年同期比12.9%増となりました。

■ 受注高・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第76期 2023年 第2四半期	第77期 2024年 第2四半期	増減率
受注高	15,191	17,147	12.9%

■ 参考:四半期累計の受注高の推移(過去5カ年)





概況

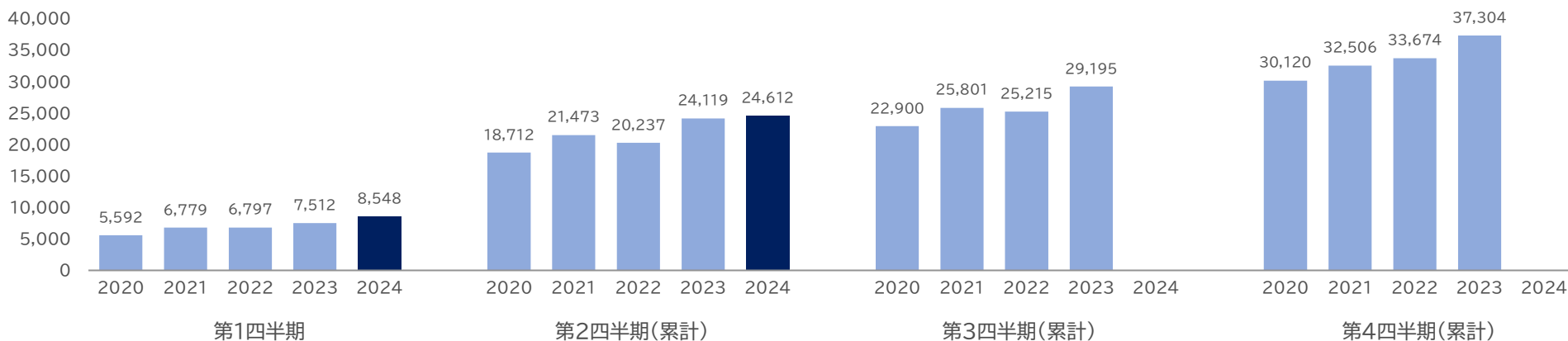
- 高精度なセンシング機材を活用し、多発する自然災害の激甚化・広域化に対応するための国土の三次元地形データ整備や、都市・森林・インフラ設備等の三次元計測を行いました。
- また、AI活用やロボット点検、デジタル社会の実現や脱炭素社会の実現に関連した事業等にも積極的に取り組んだ結果、前年同期比2.0%増となりました。

■ 売上高・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第76期 2023年 第2四半期	第77期 2024年 第2四半期	増減率
売上高	24,119	24,612	2.0%

■ 参考:四半期累計の売上高の推移(過去5カ年)





概況

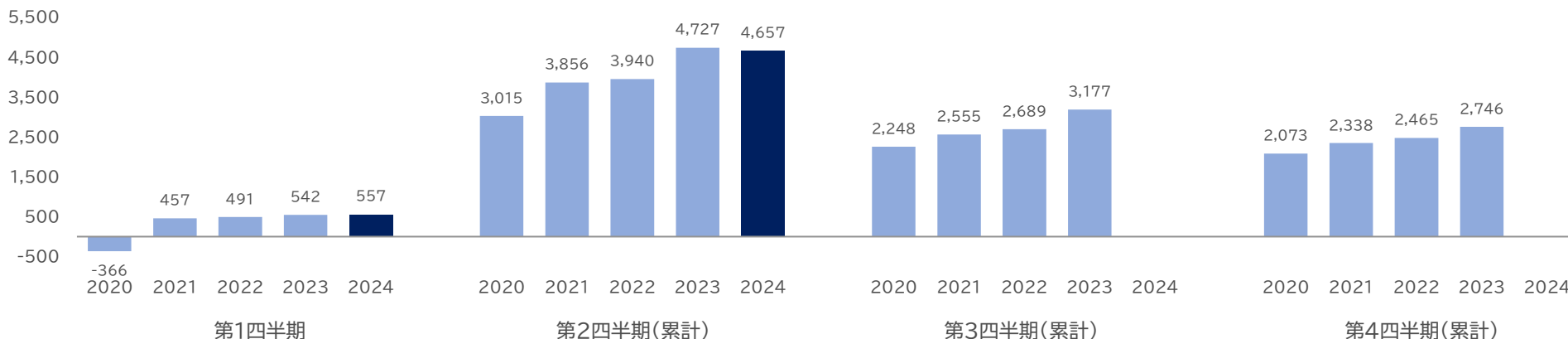
- 生産構造改革を継続的に進めるため、技術開発、最先端計測機器等の設備投資をしました。
- AAS-DX推進のためのネットワーク等IT基盤整備に投資しました。
- また、人への投資としての人件費等増加についても計画的に取り組んでまいりました。
- 前期業績が極めて好調であったこと、上記投資を拡充していることを受け、今期の結果は前年同期比1.5%減となりました。

■ 営業利益・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第76期 2023年 第2四半期	第77期 2024年 第2四半期	増減率
営業利益	4,727	4,657	△1.5%

■ 参考:四半期累計の営業利益の推移(過去5カ年)

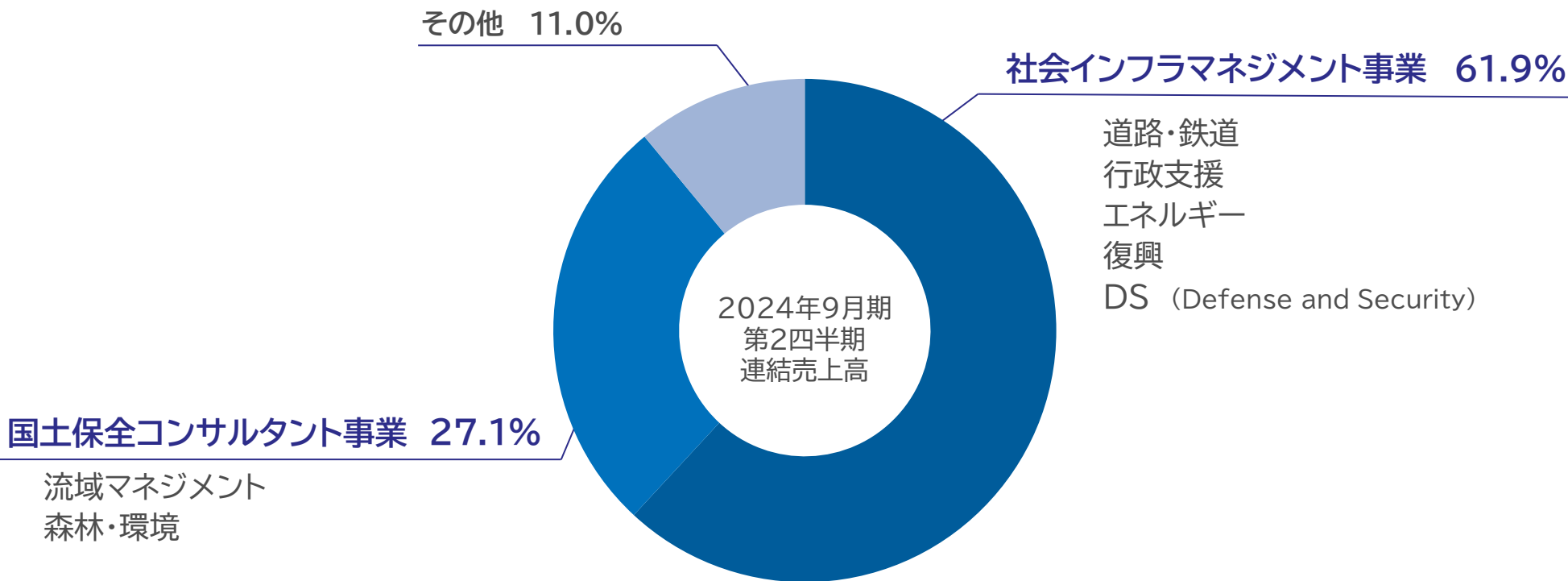


事業区分別売上高の概況(連結)



概況

- 当社グループは、空間情報コンサルタント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載に代えて事業区分別の概況を示します。
- 売上高に占める各構成比率は、社会インフラマネジメント事業が61.9%、国土保全コンサルタント事業が27.1%、その他が11.0%です。





社会インフラマネジメント事業

- 行政支援分野が牽引し、受注高、売上高ともに前年比増となりました。
- 行政支援分野では、システム構築の事業ベースラインを維持しつつ、建築・都市DX推進や広域包括インフラ関連事業の推進、エネルギー分野では、脱炭素社会実現にむけた再生可能エネルギーの計画・事業化支援等、道路・鉄道分野では各種点検、台帳・図面作成、道路計画設計等の他、センシング技術を活用したモニタリング等の取り組みを進めました。

国土保全コンサルタント事業

- 流域マネジメント分野が牽引したものの、受注は前年比減、売上高は前年比増となりました。
- 流域マネジメント分野では、防災・減災を目的とした航空レーザ測量や河川管理における航空レーザ測深(ALB)の推進、ドローン等を活用した災害緊急時の調査等、森林・環境分野では、森林資源解析や森林評価、治山計画、山地災害防止等、また、AI技術の活用等による環境調査技術のDX化等に取り組みました。

■ 事業区分別業績・前年同期比較

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

事業区分	第76期 2023年 第2四半期			第77期 2024年 第2四半期			比較増減 (増減率%)		
	受注高	受注残高	売上高	受注高	受注残高	売上高	受注高	受注残高	売上高
社会インフラマネジメント事業	10,063	10,439	15,043	12,622	12,415	15,236	2,558 (25.4%)	1,976 (18.9%)	192 (1.3%)
国土保全コンサルタント事業	4,367	3,242	6,394	3,782	3,526	6,659	△585 (△13.4%)	284 (8.8%)	264 (4.1%)
その他	759	657	2,680	742	588	2,717	△17 (△2.3%)	△69 (△10.6%)	36 (1.4%)
合計	15,191	14,339	24,119	17,147	16,530	24,612	1,956 (12.9%)	2,191 (15.3%)	493 (2.0%)

2024年9月期連結業績予想



業績予想

- 社会インフラ施設の維持管理や超スマート社会の構築を背景とした「Project PLATEAU(プロジェクトプラトー)」による3D都市モデルの整備、防災・減災対策の推進等、国土強靱化やデジタル改革の加速化、脱炭素社会の実現を背景とした公共投資により、市場は引き続き順調に推移することが予測されることから、売上高は前期比増を予想しております。
- 1株当たりの年間配当金、配当性向は前期比増を予想しています。

■ 通期 連結業績予想

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第76期 2023年 9月期 実績値	第77期 2024年 9月期 業績予想	前期比増減	
売上高	37,304	39,000	1,695	4.5%
営業利益	2,746	2,780	33	1.2%
営業利益率(%)	7.4%	7.1%	-	-
経常利益	2,970	2,910	△60	△2.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,848	1,880	31	1.7%
1株当たり年間配当金	31円	44円	-	-
配当性向	30.3%	42.5%	-	-

2. 中期経営計画の概要 (2023年10月～2026年9月)

「長期ビジョン2033」と「中期経営計画2026」の位置づけ

長期ビジョン2033(2023.10~2033.9)

『空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する』

目指す姿

1. 新たな空間情報技術の深化と探究により社会に貢献し続ける企業
2. センシング技術に挑み、社会にイノベーションを提供し続ける企業
3. 社会のサステナビリティ構築に向けて技術や事業を提供し、持続的な成長を続ける企業
4. ステークホルダーとのエンゲージメントを高め、従業員と社会の幸せを共に創り続ける企業
5. 経営基盤の強化に努め、透明性が高く、社会から信頼され続ける企業

経営目標

財務

2033年9月期

売上高 **600**億円 営業利益 **45**億円 ROE **10**%

非財務

CO2排出量 2030年までに**42**%削減
(2020年度比)

※サステナビリティ、多様性・人的資本、コーポレート・ガバナンス等に関する情報は、有価証券報告書等において開示

中期経営計画2026

フェーズ

第1フェーズ 77期~79期(2023.10~2026.9)

テーマ

事業ポートフォリオ経営の確立
多様な人財が集まる企業グループの形成

業績目標

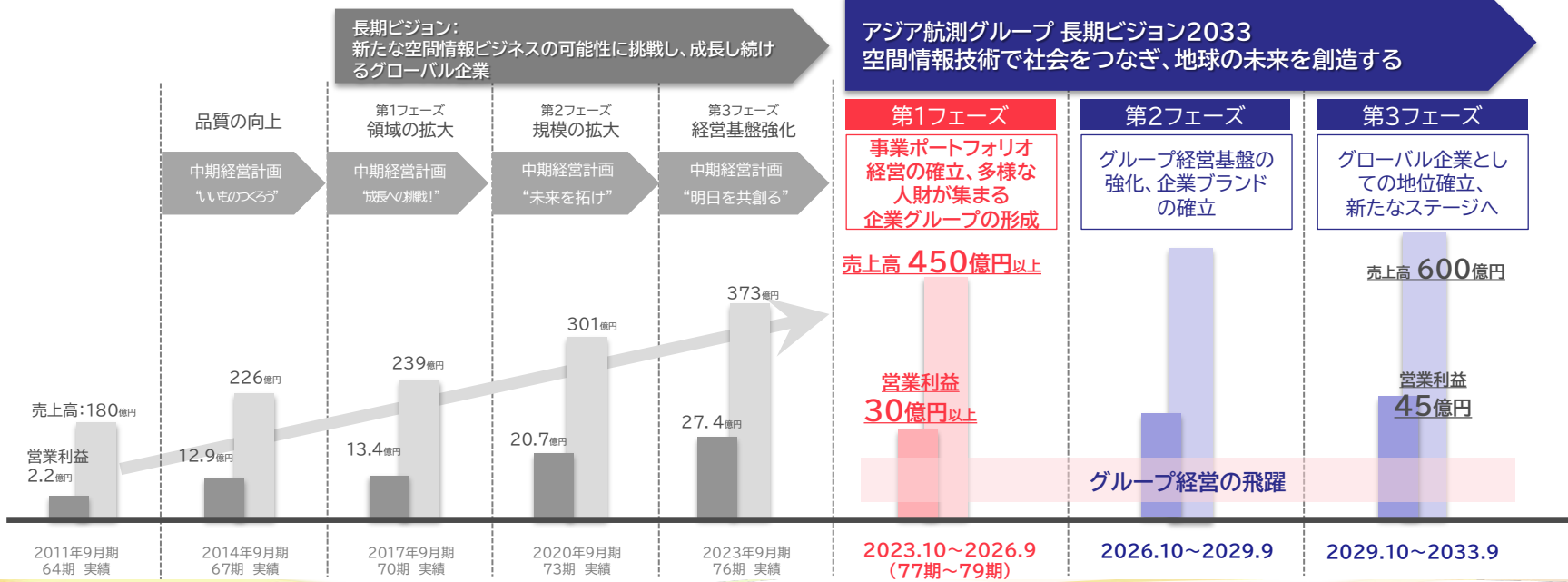
売上高 450億円以上
営業利益 30億円以上 ROE 9%以上

中期経営計画2026の概要

重点施策

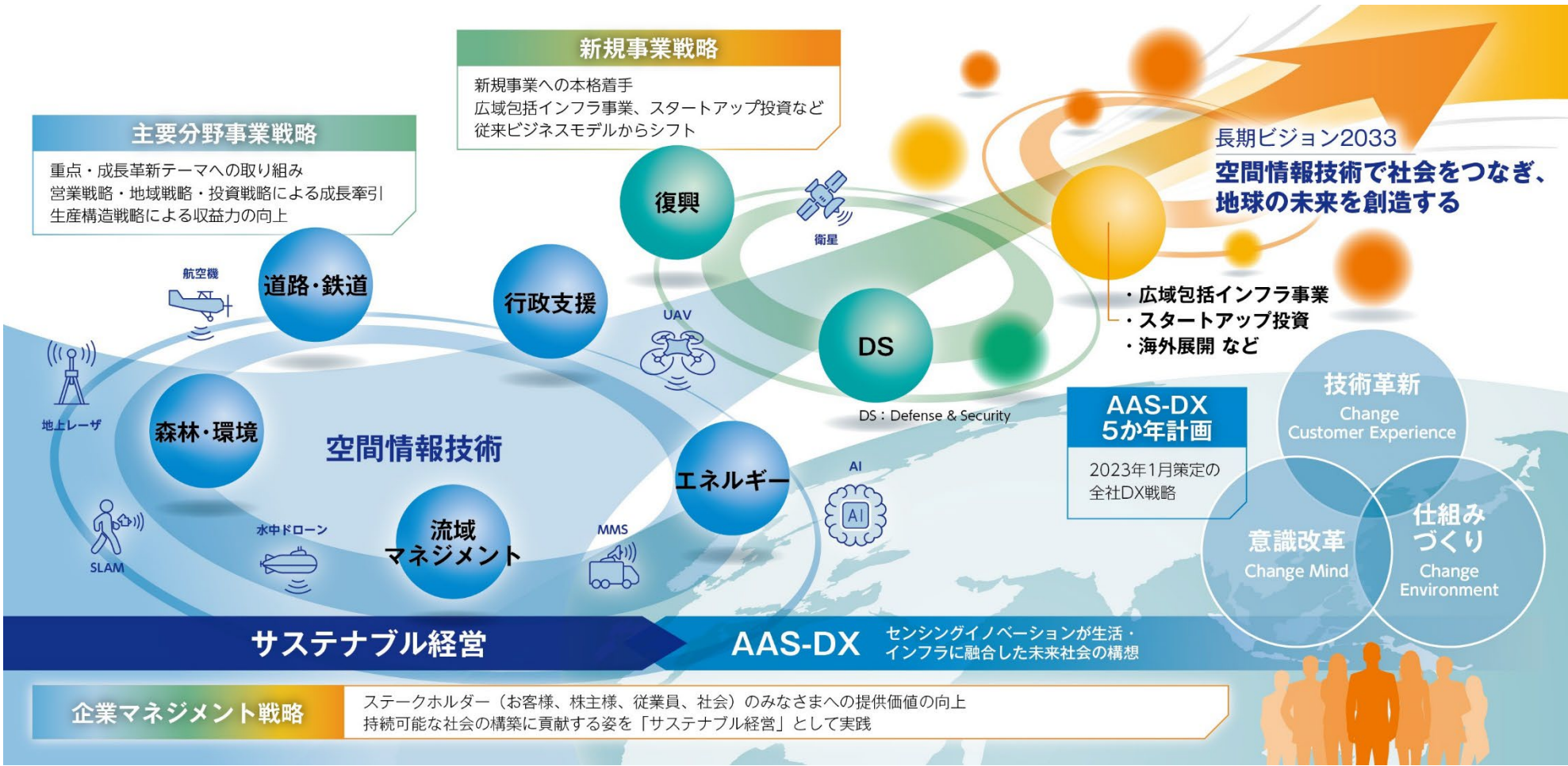


- AAS-DXの推進(AAS-DX5か年計画の推進)
- 主要分野事業の成長・生産構造改革と、新規事業への本格着手(『両利きの経営』の実践)
- 積極的な人的資本投資(育成・採用)と多様性を受容する風土・制度づくり
- 品質と安全の維持・確保
- サステナブル経営経営
(コンプライアンス・SDGs経営の維持・発展)



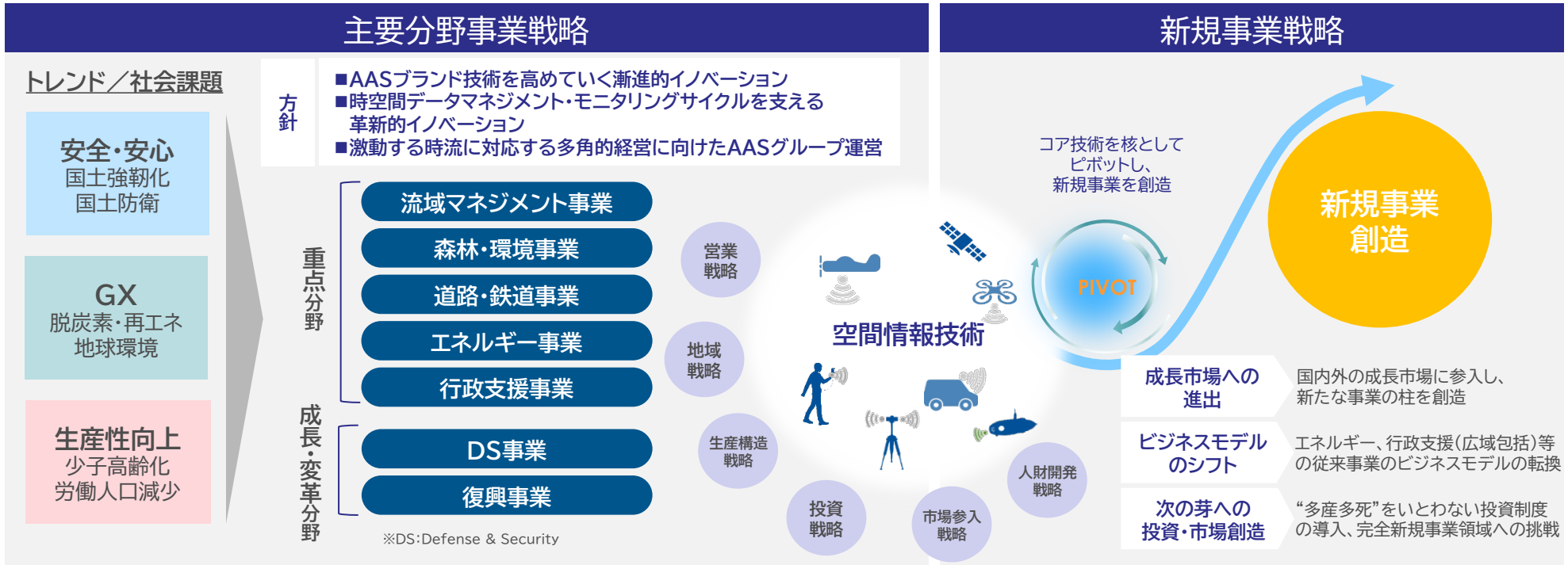
中期経営計画2026の全体像

- サステナブル経営、AAS-DXの思想を土台とし、事業戦略と企業マネジメント戦略の両輪で中期経営計画を構成
- 事業戦略は、空間情報技術を核とし、重点分野、成長・革新テーマ、新規事業への展開、事業ポートフォリオの多様化に取り組む
- 企業マネジメント戦略は、人的資本、安全と品質、脱炭素等をテーマとし、サステナブルな経営基盤を確立



中期経営計画2026 事業戦略

- 「安全・安心」「GX」「生産性向上」などの社会からの要請を背景に、当社のコア技術「空間情報技術」を核とし、主要分野事業、新規事業、分野横断の3つの観点から戦略を策定
- 事業ポートフォリオの強化に向け、新規事業創造、海外展開、M&Aに積極的に取組む



分野横断戦略	海外事業戦略			企業連携・M&A戦略	
	重点地域戦略	技術サービス戦略	営業戦略	アプローチ	
	アジア、アフリカ地域を重点地域とした事業展開・市場開拓	重点分野(地理空間情報、森林環境保全)の対応、成長分野(気候変動適用事業)への挑戦	ODA事業(主にJICA)、国際機関・外国政府、民間企業に営業展開	主要分野事業戦略、営業戦略、地域戦略、生産構造戦略、新規事業戦略等の各戦略に基づく連携パートナーの開拓、M&Aの実施	



中期経営計画2026 企業マネジメント戦略

- ステークホルダー(お客様、株主様、従業員、社会)のみなさまへの提供価値の向上=「企業価値向上」を基本思想とし、私たちの提供価値そのものが持続可能な社会の構築に貢献する姿を「サステナブル経営」として実践

企業価値向上戦略

お客様価値	安全意識の向上・法令順守を基本に優れた技術力で安定した品質の成果を提供し、お客様価値の向上に努める	従業員価値	時代に合ったコミュニケーション・職場環境、DXによる効率化や価値向上により、仕事と生活のバランスをとり、より働き続けたい企業へ
株主様価値	安定的な事業運営と成長、IR・PR等を通じた株主様との対話により、安定した関係の構築・維持・発展を目指す	社会的価値	地域社会との共生、エコ・ファースト関連活動を通じ、持続可能で安全・安心な社会の実現に向けた取組みを推進

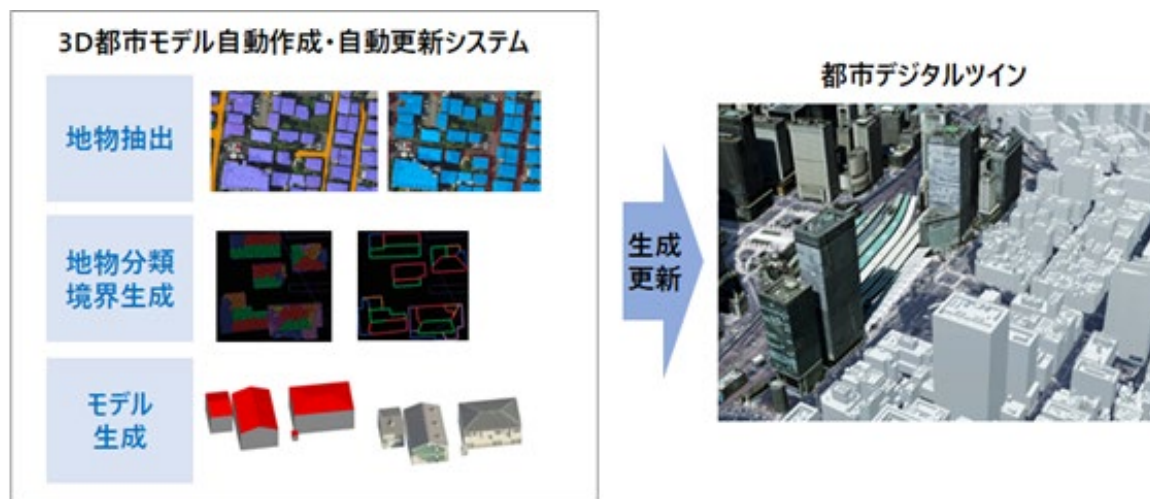
人的資本戦略	教育・人財育成 健康経営推進	キャリアパス・教育の体系化と実践 ワークライフバランスの推進による 魅力ある企業づくり 	脱炭素戦略	脱炭素目標	CO2排出量42%削減(2030年) の目標達成に向けた取組み推進 SAF、再エネ電力の活用促進 
	人事制度改革	従業員がライフステージに応じた働き方を 実現できる制度の充実化 人口減少社会を見越した採用施策の実施		カーボン オフセット	計測技術を用いた森林クレジット 創出、SAF利用によるカーボンオフ セットの組み込み 
安全 品質 ガバナンス	安全確保 品質改善	航空安全や成果品質の改善サイクルの構築 総品質コストの最適化に向けた投資の実施	事業継続	BCM・BCP	事業継続関連規定・マニュアル類の充 実、マネジメントサイクルの継続的改善 レジリエンス認証の維持 
	ガバナンスの 維持・向上	コンプライアンス経営の徹底 不正・不祥事を許さない・生まな い経営 		代替拠点	首都圏直下型地震等の大規模災害発生時を 想定した代替拠点の機能検討と整備
資本戦略	投資家・市場 への対応	流通性の改善、株主還元の拡大 コーポレートガバナンスコードへの対応 	IT・DX 戦略	DX5か年計画	DX5か年計画に基づく各種施策実行 DX認定の維持、DX認定事業者とし て先進的な取組みの推進 
	IR・PR	情報開示・発信の充実、投資家との対話促進 サステナビリティサイト、統合報告書等を通じ た情報発信サイクルの運用		各種 IT施策	新基幹システムの運用定着と活用推進 サイバーセキュリティ対策、ネットワーク冗長化 等のインフラの強化



国土交通省の「SBIRフェーズ3基金事業」に採択

- 2024年2月21日、当社は株式会社リアルグローブとコンソーシアムを組み、国土交通省のSBIR事業※の「3D都市モデル自動作成・自動更新システムの開発及び実証」に採択されました。
- 本事業では、これまで手作業で実施してきた3D都市モデルの整備・更新を、AI等を活用して自動化する技術開発・サービス提供を目指しており、今後ますます需要が高まると想定される都市デジタルツインの整備エリアの拡大、更新頻度の向上、コストの低廉化に寄与するものと考えています。

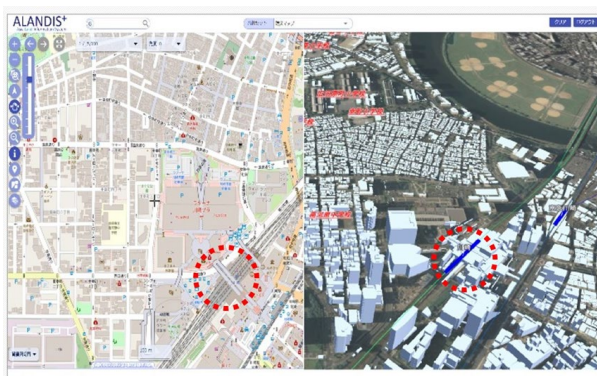
※SBIR 中小企業イノベーション創出推進事業



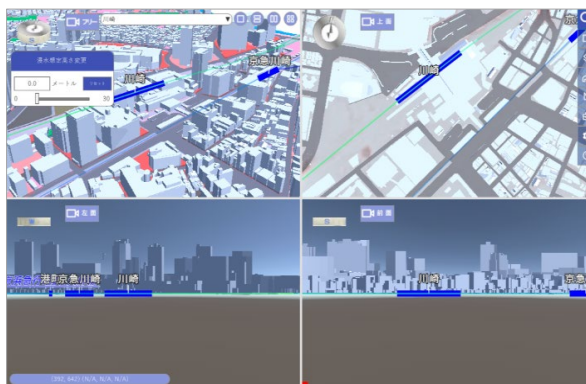
3D都市モデル自動作成・自動更新システムの実現イメージ

「ALANDIS Connect」をリリース

- 2024年3月25日、当社が独自開発しているGIS製品「ALANDIS+(アランドイス プラス)」の3D版として「ALANDIS Connect(アランドイス コネクト)」をリリースしました。ゲームエンジンを採用することで、高速表示を実現し、様々な3Dデータ(3D都市モデル、地形モデル、3D点群など)をWeb上で搭載/利用することが可能です。
- ブラウザさえあれば、PC、スマートフォン、タブレット等の利用端末を選ばない柔軟性に富んだシステムです。
- 2020年にスタートした国土交通省が主導する、日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU(プラトー)」には、多くの団体や企業が参加しており、3Dデータの利用場面は確実に高まりつつあります。当社は、Web・クラウド時代に対応した3Dデータ利活用のサービス基盤(プラットフォーム)として、本システムの販売を促進してまいります。



2次元連動画面イメージ(左:オープンストリートマップ、右:川崎市オープンデータを使用)



分割表示機能

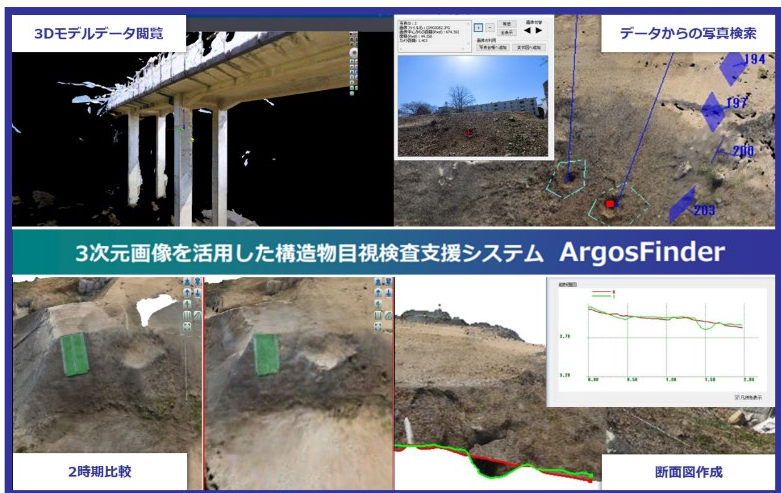


構造別建物モデル



構造物目視検査支援システム「ArgosFinder®」の提供を開始

- 2023年11月8日、当社は、構造物の変状抽出やその検査結果の記録業務を支援するシステム「ArgosFinder® (アルゴス ファインダー)」を公益財団法人鉄道総合技術研究所と共同開発し、提供を開始しました。
- 「ArgosFinder®」は、鉄道・道路・橋・トンネル・河川施設など、各種インフラ構造物の維持管理の重要性が高まっていること、また定期検査時の課題である人手不足による作業負担や、変状以外の関連情報の記録不足などを解決することを目指し開発しました。
- 「ArgosFinder®」製品情報 <https://www.ajiko.co.jp/dl/data/ArgosFinder.pdf>
 ・特許第6833753号 ・登録商標第6498482号



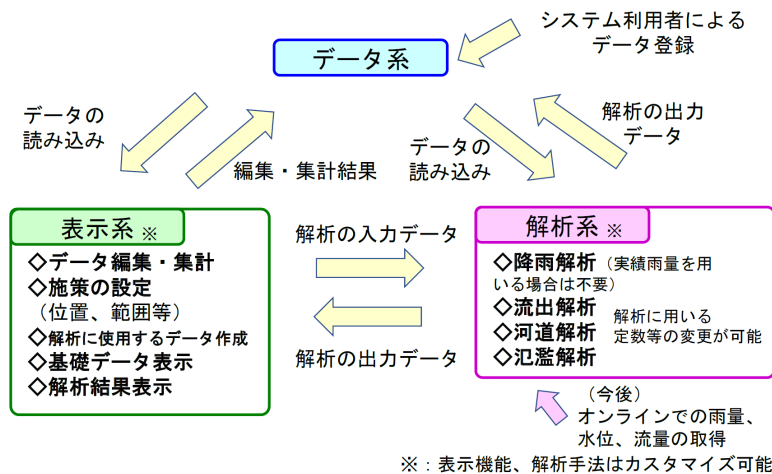
目視検査支援システムArgosFinder® 利用イメージ



機能例:異なる時期の状態を比較する機能

流域治水施策の合意形成を支援 「流域治水DXシステム」の開発を発表

- 2024年2月28日、当社は株式会社建設技術研究所と共同で、流域での合意形成を支援する「流域治水DXシステム」を開発しました。
- これにより、流域治水施策の効果を定量的に評価し、その施策の必要性を明らかにすることで関係者間の合理的でより速やかな合意形成構築を図ることが可能になります。
- 今後も流域治水プロジェクトの具体化と実現により、社会全体の水防災へ貢献することを目指します。



システム構成



流域治水DXシステム イメージ図



陸上自衛隊中部方面総監部と 「災害時等の連携に関する協定」締結

- 当社と陸上自衛隊中部方面総監部は、災害時等において情報支援等に関し連携・協力して対応することを目的として、2024年1月19日に「災害時等の連携に関する協定」を締結しました。



締結式の様子

ウズベキスタン共和国 生態系・環境保全・ 気候変動省と協力覚書を締結

- 2024年3月8日、日本産業貿易機構と駐日ウズベキスタン共和国大使館の主催によるウズベキスタン・日本ビジネスフォーラムが東京で開催され、社長の畠山が出席しました。
- 当社は同フォーラムの場で、ウズベキスタン共和国の生態系・環境保全・気候変動省と2件の協力覚書を取り交わしました。
- 今回の覚書締結に基づき、ウズベキスタンにおける環境保全ならびに森林保全の課題解決に向け、双方の持つ知見を活かし協力していきます。



当社社長の畠山とウズベキスタン共和国生態系・環境保全・気候変動省のクドラトフ副大臣との協力覚書締結の様子

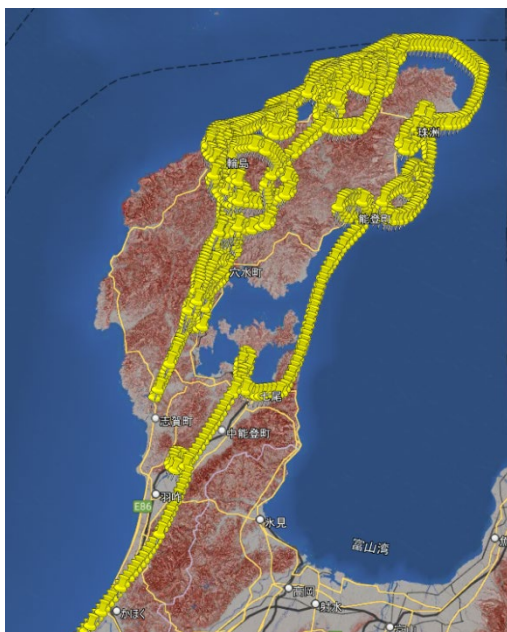


令和6年能登半島地震 被災状況の緊急撮影を実施

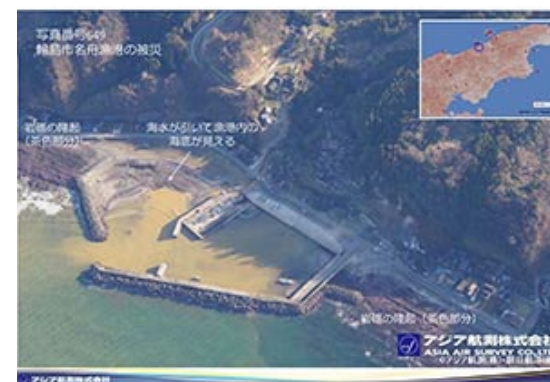
- 2024年1月1日16時10分頃、石川県能登地方で最大震度7の地震が発生しました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。
- 2024年1月2日、当社は朝日航洋株式会社と共同で航空機から被災した一部地域の斜め空中写真撮影を実施・公開しました。

【公開URL】

https://www.aiiko.co.jp/news_detail/1464



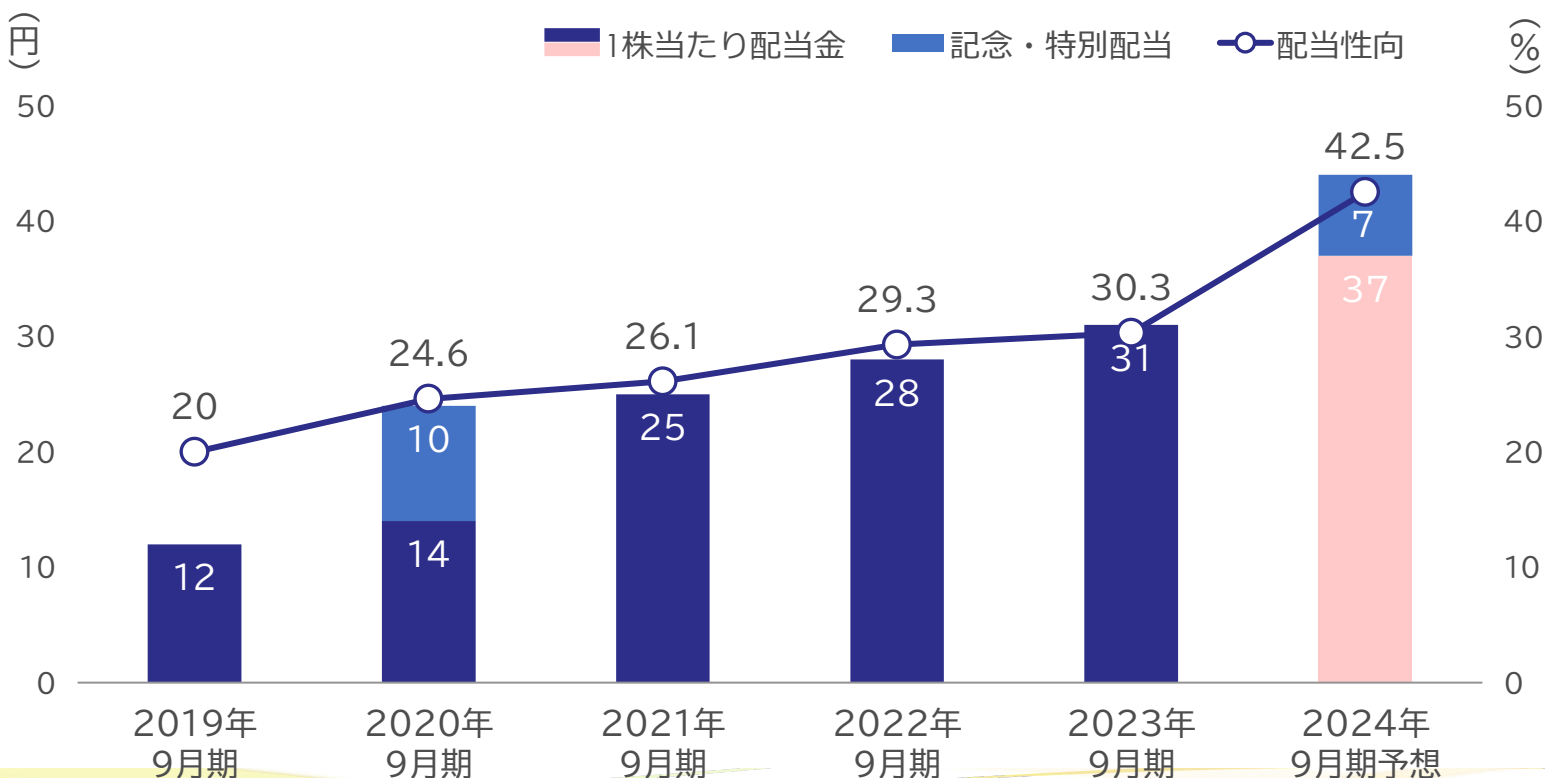
撮影範囲



進捗

- 「配当性向35%以上」を目標とし、継続的かつ安定的な株主還元を基本方針としています。
- 今期、当株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りまして、創立70周年を迎えました。これまでの株主の皆様のご支援にお応えするため、1株当たり7円の記念配当を中間配当として実施いたします。
- この結果、1株当たりの年間配当は44円(期末普通配当37円、中間記念配当7円)、配当性向は42.5%となる予定です。

■ 1株当たり配当金および配当性向推移



Appendix

会社概要 Company profile

会社名	アジア航測株式会社 Asia Air Survey Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 畠山 仁
資本金	16億7,377万円
株式上場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:9233)
事業内容	航空機使用事業、測量業、建設コンサルタント業、地質調査業、ほか
売上高(連結)	373億円(2023年9月期)
従業員(連結)	1,693名(2024年3月末時点)
設立	1954年2月26日
本店所在地	東京都新宿区西新宿六丁目14番1号 新宿グリーンタワービル

Y CO., LTD.

70周年記念ページの開設

- 企業サイト内に「アジア航測のあゆみ」を開設し、当社の歴史を紹介しています。



「アジア航測のあゆみ」:<https://www.ajiko.co.jp/history>

記念ロゴの制定

- 社員投票で決定した70周年ロゴを公開しました。



植物の芽や葉で持続可能性を表し、その葉が鳥の翼となり、そして当社を象徴する航空機となって未来へと進んでいくという、当社の発展や「長期ビジョン2033」の精神である「つなぐ」や「創造」を表現しています。



経済産業省が選定する「DX認定事業者」認定更新

- 2022年に認定取得した経済産業省が定めるDX(デジタルトランスフォーメーション)認定制度に基づく「DX認定事業者」の認定について、2024年2月に認定が更新されました。



「健康経営優良法人2024」認定

- 2023年に引き続き、「健康経営優良法人2024」(大規模法人部門)に認定されました。



アジア航測グループの温室効果ガス削減目標がSBT認定を取得

- 当社グループが設定する2030年までの温室効果ガス削減目標について、国際機関(SBT イニシアチブ)よりパリ協定が定める目標水準に沿った科学的根拠に基づいた目標として認定を取得しました。
- 当社グループは今後も、地球規模で進行する気候変動が及ぼす影響を事業へのリスクと機会と捉えながら、今回の認定を受けてサプライチェーン全体で排出量削減をより一層推進していきます。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2023年9月期決算、新長期ビジョン・新中期経営計画説明会開催、同動画公開

- 2023年11月27日、日本証券アナリスト協会セミナールームにおいて機関投資家様向け2023年9月期決算・新長期ビジョン・新中期経営計画説明会を開催しました。
- より多くの方にご覧いただけるよう同説明会の動画を公開しました。

【説明会動画】

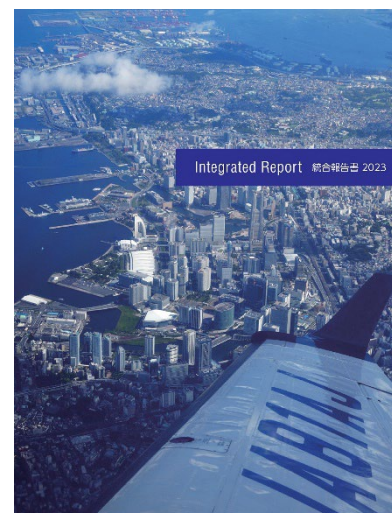
<https://net-presentations.com/9233/20231114/bemu3pf8/>



説明動画

「アジア航測 統合報告書2023」を公開

- 2024年2月26日、株主・投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまに、当社の持続的成長と企業価値の向上についてご報告することを目的とし、「アジア航測 統合報告書 2023」を発行しました。
- 主要ガイドラインに基づき、当社の基礎情報・財務データ・経営戦略・サステナビリティ情報などを抽出して掲載しています



アジア航測株式会社

アジア航測 統合報告書2023

第5回 滋賀県優良業務表彰受賞

- 当社社員が、第5回滋賀県優良業務表彰において【森林土木部門】、【建設環境部門】の優秀賞を受賞しました。



令和5年度日本写真測量学会秋季学術講演会 論文賞受賞

- 当社先端技術研究所の社員が、令和5年度日本写真測量学会秋季学術講演会において論文賞を受賞しました。



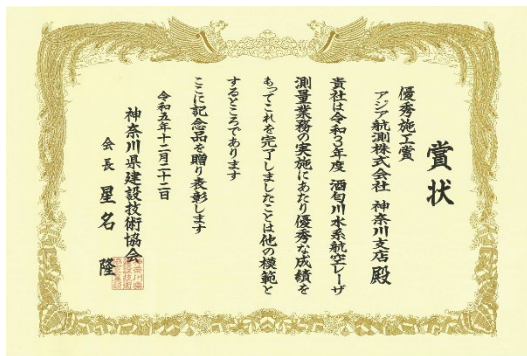
東海旅客鉄道株式会社より 感謝状

- 2023年11月27日、東海旅客鉄道株式会社より中央新幹線環境関連調査(2)共同企業体(6社)の一員として、中央新幹線建設における「環境の保全」の取組みを支える、現地調査等の業務遂行に対して、感謝状が授与されました。



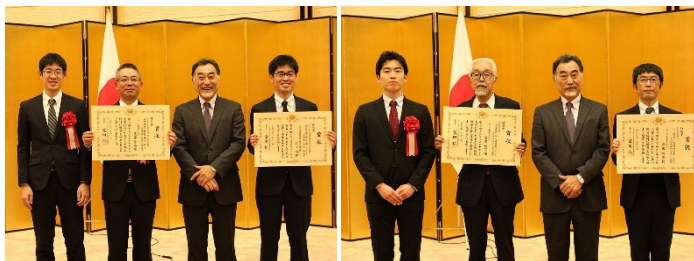
神奈川県建設技術協会 優秀施工賞受賞

- 令和3年度酒匂川水系航空レーザ測量業務が、建設技術協会優秀施工賞を受賞しました。



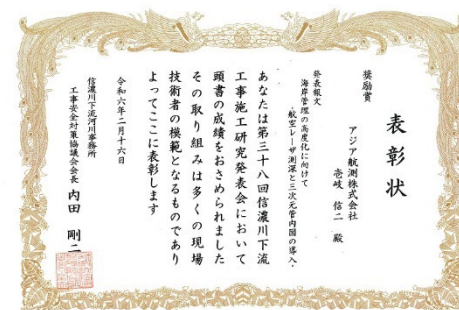
第7回「インフラメンテナンス大賞」 特別賞受賞

- 日本国内の社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰する第7回「インフラメンテナンス大賞」の国土交通省[特別賞]および環境省[特別賞]を受賞しました。



第38回信濃川下流工事施工研究発表 奨功賞受賞

- 当社社員が、第38回信濃川下流工事施工研究発表会において奨功賞を受賞しました。



第14回「エコとわざ」コンクール 「アジア航測賞」の表彰式を実施

- 「エコとわざ」コンクールにて「アジア航測賞」を進呈し、ご本人とご家族を当社の調布運航所へご招待し、表彰状授与式を行いました。

作品『一つの地図で10人以上の命を守る』

- 表彰式では当社がハザードマップの元となるデータを作成していることをご説明し、航空機JA81AJ「あおたか」の内部などのご案内しました。



表彰状授与



コックピットでの計測機器説明の様子

八尾空港「空の日」イベント 格納庫見学実施

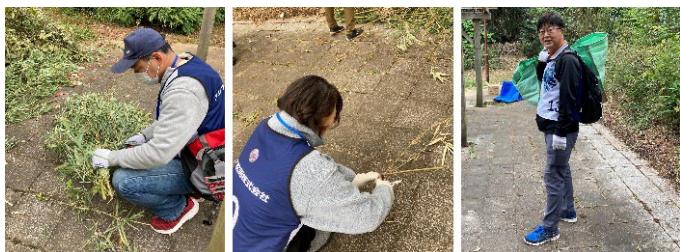
- 2023年11月18日、八尾空港で格納庫やコックピットの見学、航空機と写真撮影などを行う「空の日」イベントが開催されました。
- これは八尾空港で活動している事業の紹介をするイベントで、当社の格納庫も一般公開しました。



格納庫内での説明の様子

麻生区役所と新百合山手公園管理運営協議会主催イベントに参加

- 2023年11月12日、麻生区役所と新百合山手公園管理運営協議会主催の「公園のこれからを考えよう ～美化活動×イベント×麻生区地域デザイン会議」が開催され、当社からも社員が参加しました。
- この取り組みは、恒例である新百合山手公園管理運営協議会主催「万福寺おやしろ公園四季彩の丘清掃活動」をベースに、協議会と麻生区役所がコラボし、美化活動と手作りイベント、地域デザイン会議を合わせて開催したものです。



各イベントでの様子

各地域でのボランティア活動に参加

- 当社では毎月、全国各地の拠点社員が積極的にボランティア活動に参加しています。



大阪マラソン“クリーンUP”作戦

「第13回みんなでやっぺ!! きれいな6国」
(福島)

名古屋国道19号線沿い清掃活動

横浜国道事務所
ボランティアサポートプログラム

「SDGsマルシェinあさお」ブース出展

- 当社は、2024年2月10日、一般社団法人サステナブルマップ主催、麻生区と新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムが共催する「SDGsマルシェinあさお」に特別協賛しました。
- 「森づくりに貢献 アジア航測の技術」をテーマに企業ブースを出展し、当社技術を紹介しました。



パンフレット

「森林の魅力を手感 in 京都府立植物園」参加

- 2024年3月2日(土)・3日(日)の2日間、京都府立植物園で行われた「森林の魅力を手感in京都府立植物園」イベントに出展しました。
- このイベントは京都府立植物園開園100周年を記念して、「森林の持つ機能・大切さを知っていただきたい」、「木育など森林を身近に感じていただきたい」との思いにより開催されました。
- 当社もレーザーデータを利用した赤色立体地図等による森林解析を体験できるブースを設けました。



赤色立体地図等による森林解析の説明

■本資料およびIRに関するお問い合わせ先

アジア航測株式会社 総務部IR室

E-mail: info@ajiko.co.jp

URL: <https://www.ajiko.co.jp/ir/>